

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	小澤祐介	学校名	さいたま市立浦和南高等学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	3年3組（38名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年10月8日5時間目 13:35～14:30（1/2時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：南高Action for SDGs						
2. 実践する教科・領域：		3. 学習領域				
総合的な学習の時間 「南高Action for SDGs」			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：						
「エシカル消費」や「ESG投資」という考え方を通して自身が持続可能な社会の創り手の一員であることを認識し、何が個人に求められているのかを考え、自分の意見を述べるとともに、持続可能な社会を作る一員としての自身の未来に期待を持つ。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	自身が持続可能な社会の作り手の一員であることを認識し、「エシカル消費」や「ESG投資」という考えを理解している。				
	②思考力、判断力、表現力等	持続可能な社会の創り手として個人に何が求められているのかを考え、自分の意見を表現することができる。				
	③学びに向かう力	授業で学んだことを通して、持続可能な社会を創る一員としての自身の未来に期待を持つようになっている。				
6. 単元設定 の理由・単元 の意義 (児童/生徒観、 教材観、 指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>3年次1学期において、計画されていたSDGsの学びはいったん終了した。全カリキュラムを終えて提出された感想を見たところ、SDGsを自分に関係のある事柄として捉えられるようになってきている一方、「自分に関係があるのはわかるが、目標達成に向けて行動するのは自分ではない」という考え方も散見される。もちろん政府や企業が率先してやらねばならないことではあるが、「個人」もSDGsの担い手であるということを感じさせ、自身が持続可能な社会の創り手であることを認識させたい。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>学校の9割以上の生徒が大学進学を希望している。3年3組は国公立大学受験者を含む文系クラスである。真面目な気質であり、勉強も部活も非常に熱心に取り組む。コロナ禍で部活に完全燃焼できなかった反動か、大学受験に対して熱意を燃やしている。</p> <p>【教材観】</p> <p>授業当日は大学入学共通テストまであと100日程度という日である。生徒の中には、「なぜこの時期に国際理解教育をするのか」と疑問に感じる者もいるだろう。まずは「受験勉強」という生徒になじみのある例を用いて導入とし、理想の未来はどのように作ったらよいかという話題に移る。「エシカル消費」や「ESG投資」という言葉は生徒に初めて紹介する用語である。今までの学習のなかでこれに類する具体例はすでに学んでおり、今回定義化されることによって、生徒にどのような変容があるのかを期待したい。</p> <p>【指導観】</p> <p>「エシカル消費」や「ESG投資」という考え方は、高校生3年生にとって持続可能な社会を創る身近で現実的な方法のひとつであろう。現在、生徒は大学入試への知識を増やすことに向けて努力しているところだが、それに加えて、大学入学後や大人になったときにあるべき姿を</p>					

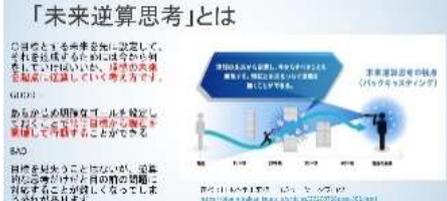
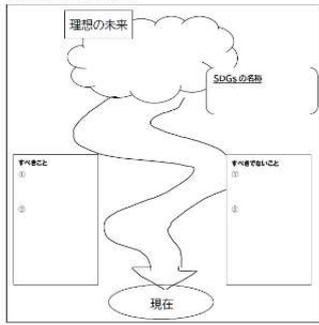
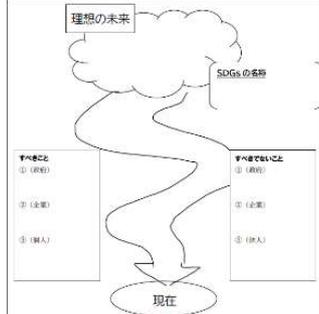
	思い描かせたい。		
7. 単元計画 (全2時間)			
時	ねらい	学習活動 ねらいを達成するために組み込んだ学習活動 のみを簡潔に箇条書きします	資料など ※: JICA リソース 活用はここに記載
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が持続可能な社会の創り手の一員であることを認識する。 ・「エシカル消費」や「ESG投資」という考えを理解する。 ・持続可能な社会の創り手として個人に何が求められているのかを考え、自分の意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの目標を設定し、その目標から逆算して「すべきこと・すべきでないこと」を考える。 ・SDGs を達成するという目標から逆算して「すべきこと・すべきでないこと」を考える。 ・「エシカル消費」や「ESG投資」という考え方を参考にして、割り当てられたSDGsのテーマについて、「政府」「企業」「個人」として「すべきこと・すべきでないこと」をグループで考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京科学未来館『未来逆算思考』 ・東京科学未来館『科学コミュニケーターブログ』 ・Think the Earth『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』 ・Mundi2020年8月号
2	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの授業や講義で学んだことを通して、持続可能な社会を作る一員としての自身の未来に期待を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーによる講演を聴き、「個人」として持続可能な社会を創るために何ができるのかを考え、書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカー - JICA 地球ひろば 濱小路さん - GiFT 忍さん

8. 本時の展開 (概略)

本時のねらい:

自身が持続可能な社会の作り手の一員であることを認識し、「エシカル消費」や「ESG投資」という考えを理解したうえで、持続可能な社会の創り手として個人に何が求められているのかを考え、自分の意見を述べるができる。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 1. (0-8分)	<p>*プロジェクトを用いて進行を黒板に写して進める。</p> <p>1. 「未来逆算思考」という考え方を知る ①例として、共通テストを利用する 「今日は10月8日。共通テストまであと100日です。第一志望合格のために、あと100日で「すべきこと・すべきではないこと」をプリント①に2つずつ書き出しましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語帳をもう2周行う ・対策問題を行う ・スマホの誘惑に負けない ・目標を下げない <p>「理想とする目標から逆算して現在の行動を決める思考法、これが未来逆算思考です。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する生徒の関心を引く ・必要ならば、生徒の緊張をほぐすために少し長めに時間をとる 	<p>TASK① 【100日後の大学入学共通テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京科学未来館『未来逆算思考』 ・東京科学未来館『科学コミュニケータープロ

<p>展開</p> <p>2. ① (8-20分)</p> <p>3. ② (20-30分)</p> <p>3. ① (30-35分)</p> <p>4. ① (35-53分)</p> <p>まとめ (53-55分)</p>	<p>「今日はこの考え方の視点から、SDGs について考えます」</p> <p>2. SDGs を「未来逆算思考」その①</p> <p>①ペア活動 「では、隣同士でペアを作り、2人が個人研究において自分が扱ったSDGsのテーマについてどちらか一つを選び、それが10年後に達成されるために「すべきこと・すべきではないこと」をプリント①に2つずつ書き出しましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題に気づく、問題意識を持つ ポリ袋の使用削減 大量消費大量生産 <p>②分析と認識 「書き出した内容の主体が「政府」「企業」「個人」なのか分析してみましょう。主体が複数にまたがる場合は、複数書いてもかまいません」</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題意識を持つのは、「個人」「企業」「政府」 ポリ袋の使用削減は、「個人」 大量消費大量生産は、「企業」（「個人」） <p>「個人」も持続可能な社会の創り手なのです。SDGs が達成されるかどうかは、私たちも関わっています」</p> <p>3. 「エシカル消費」「ESG投資」</p> <p>①考え方の紹介 「個人」として私たちに何ができるか、「エシカル消費」や「ESG投資」という2つの考えを紹介します」</p> <p>4. SDGs を「未来逆算思考」その②</p> <p>①グループ活動 「ではもう一度、SDGs を未来逆算思考で考えてみましょう。グループを作ります。個人研究で扱われていたのが多かったSDGsのテーマをグループに割り振り、そのテーマについて、「政府」「企業」「個人」として「すべきこと・すべきでないこと」を1つずつグループで考えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府は、SDGs の内容に合致している企業に補助金を出す 企業は、より環境に配慮した製品の製造を行い、それを発信する。 個人は、環境に良いかという視点も持ちながら消費する <p>5. 6時間目の予告 「6時間目は、講義を聞き、卒業後、持続可能な社会を創る「個人」として「すべきこと・すべきではないこと」を書き出します」</p>	<p>・難しいようなら、数例を取り上げる</p> <p>・適宜、机間巡視</p> <p>・割り当てられたすべてのテーマに対して「政府」「企業」「個人」として「すべきこと・すべきでないこと」が挙げられるとは期待しない。ここでの「もやもや感」を6限の講義につなげたい。</p> <p>・時間を見て、発表するグループ数を決める</p>	<p>グ』</p>  <p>TASK② 【SDGsを未来逆算思考①】</p>  <p>・Think the Earth『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』</p> <p>「エシカル消費」と「ESG投資」</p> <p>「エシカル消費」 →「倫理的消費」の別称 →人や社会、環境に配慮した商品に優先的に購入すること</p> <p>「ESG投資」 →利益以外の要素だけでなく、環境や人権などの課題に取り組み、社会に貢献しているか、を通じて企業価値を高めること</p> <p>→ESGとは「環境」(Environment)、「社会」(Social)、「統治」(Governance)の略称であることが重要。</p> <p>・Mundi2020年8月号</p> <p>「エシカル消費」と「ESG消費」</p>  <p>TASK③ 【SDGsを未来逆算思考②】</p> 
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が持続可能な社会の創り手の一員であることを認識し、持続可能な社会を作る一つの方法として「エシカル消費」や「ESG投資」という考えを理解することができたか。（課題提出） ・持続可能な社会の創り手として個人に何が求められているのかを考え、自分の意見を述べることができた 			

か。(課題提出)

10. 学習方法および外部との連携

- ・授業後の6時間目にゲストスピーカーとしてJICA地球ひろばの濱小路さん、GiFTの忍さんに講義をして頂く。
- ・講義の内容は、「個人」として持続可能な社会を創るために何ができるのか。

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

「南高 Action for SDGs」と題して、総合的な学習の時間を利用して3年間で計16回の以下の学習を行った。

【前期】SDGsについて知る

<内容>

SDGsの項目にちなんだ様々な内容の文献を読む。読んだ内容について意見を書き、グループやクラス全体で話し合う。

<具体例>

- ・「ジェンダー」とは何か～ディズニーアニメや子供向けおもちゃを通して～
- ・コンビニはインフラか～全体のための個人か個人のための全体か～
- ・Global Warming Business～温暖化で利益を得る人々～
- ・SDGsの観点から文化祭を見直してみよう など

【後期】個人研究

<内容>

以下の項目についてポスターを制作し書いた内容について発表する。作ったポスターは校内に掲示する。

1. 自分の興味があるSDGsの目標について
2. その目標に関係する世界的な問題
3. その問題に関係する身近(市や県規模)な問題
4. 自分の希望する進路先なら、①②③の問題をどう解決するか

【自己評価】

12. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が多かった。あわただしくなってしまった。発表をし、意見を共有する場面を作りたい。 ・「エシカル消費」「ESG投資」について説明する時間が短かった。
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が多いので、どの活動に焦点を当てたいのかに応じて、活動の強弱をつけたり時間を減らしたりすることが必要になる。 ・「エシカル消費」「ESG投資」についての説明が少ない。高校生(小中学生も)にとって経済分野の話題は具体例が少ないと理解が進まない。「エシカル消費」や「ESG投資」についてもっと具体例が必要であった。

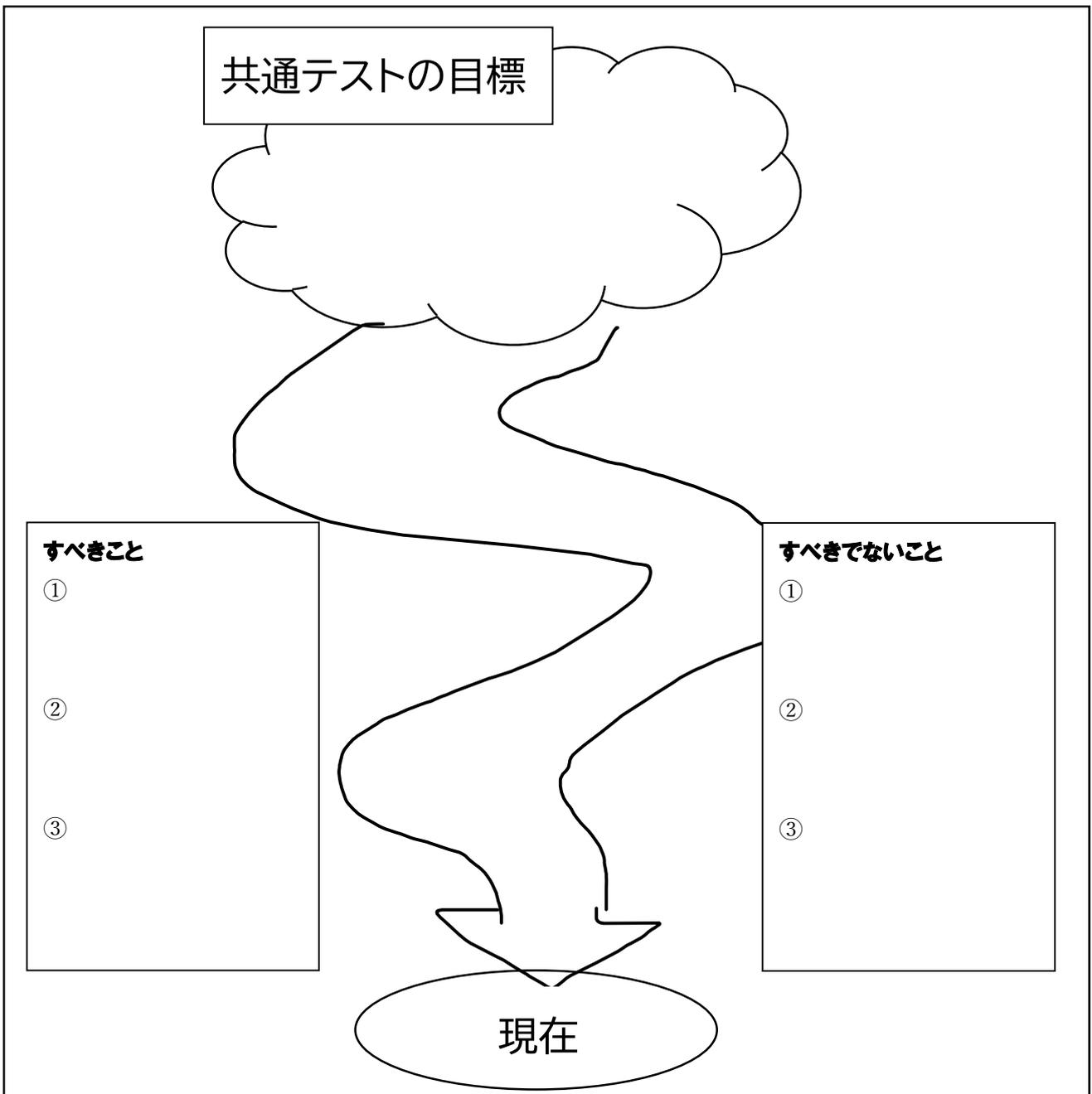
<p>14. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs への関わり方を「個人」「企業」「政府」と分けて考えさせたことにより、自分にできることがより具体的になった。 ・「エシカル消費」「ESG 投資」に焦点を当ててはいるが、SDGs を大きく俯瞰するような授業であった。この授業を通じて、3年間の SDGs についての学びが生徒の身についていることがわかった。 ・SDGs を身近なものとして感じられるものになった。
<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>・SDGs をより身近なものとして感じるようになったことがわかる。</p> <p>2. 5 限目の授業および6 限目の講演を聞いての感想を記入してください。</p> <div data-bbox="427 533 1417 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>SDGs について知ることによって、私たちが個人がどうよりかは政府や企業がどうにかしていく問題というイメージがたけず、私たちが個人がSDGs について知ることがなく、環境や世界の人々のことを考えながら日々の生活の中で少しのことでも種々重ねていくことが大切だということに気が付かすことができました。</p> </div> <p>2. 5 限目の授業および6 限目の講演を聞いての感想を記入してください。</p> <div data-bbox="427 969 1417 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>SDGs について改めて考え、政府や企業だけでなく私たちが個人も持続可能な社会の形成に関わるべきと分かり、日常生活でもっと意識して過ごしたいと思いました。また、私の教育関係の仕事に就きたいと考えているので、自分の将来はSDGs からの観点でプラスに良い社会をつくるためには必要の人材を育成したいと思いました。</p> </div>
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「エシカル消費」「ESG 投資」を取り上げているが、SDGs 全体を見渡すような内容であった。生徒が今までの学びのなかで SDGs について理解をしているかどうか、授業が活発に進むかどうかのカギであった。予想以上に、今までの学習を通じて生徒には SDGs についての知識が定着しており、グループワークに活気があった。 ・その結果、発表の内容も充実していた。生徒が発表する時間をもっと作り、意見を共有する場面を用意すべきであった。もっと生徒のパフォーマンスを信じるべきであった。 ・JICA 濱小路さん、GiFT 忍さんに講演をして頂いた。生徒にとって社会で活躍する人の話を聞くのは非常に刺激的だったようだ。高校の授業に対して前向きでない生徒も、何かしら心に響いたようである。 <div data-bbox="427 1753 1417 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6限の講演では、世界に目を向けている人たちの話を聞いて、自分ももっと積極的に発言して表現できたいという自分の心から歩んでいく人生にとって、とてもいい影響を与えてくれた。</p> </div>

参考資料：

- ・東京科学未来館『未来逆算思考』
- ・東京科学未来館『科学コミュニケーターブログ』
- ・Think the Earth『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』
- ・Mundi2020 年 8 月号

TASK①

【100日後の大学入学共通テスト】

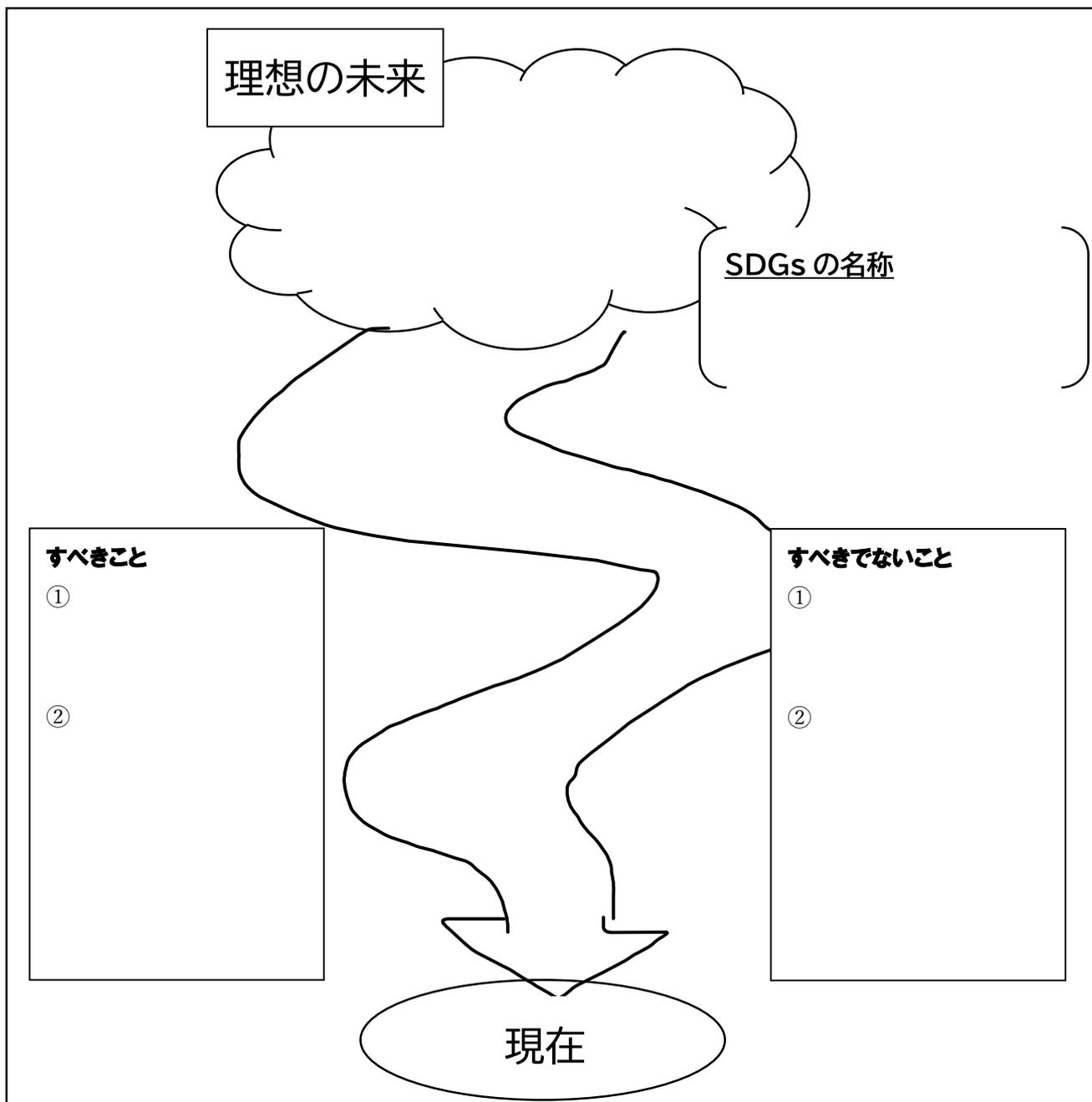


○「未来逆算思考」とは

→理想の未来から逆算して「何をすべきか」「何をすべきでないのか」を考える方法

TASK②

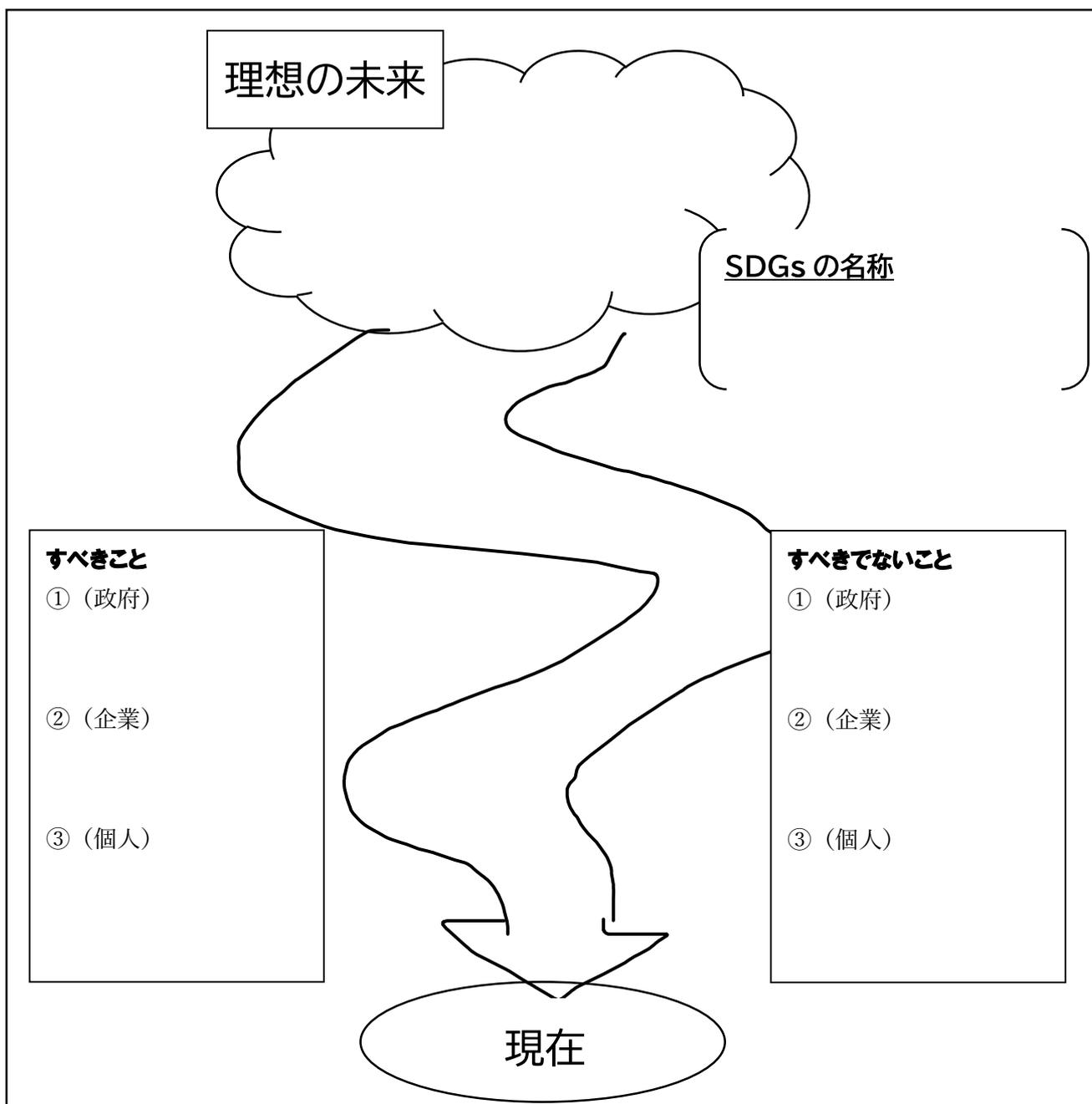
【SDGs を未来逆算思考①】



- 「すべきこと」「すべきでないこと」の主体を「政府」「企業」「個人」に分類する
- 「エンカル消費」と「ESG 投資」

TASK③

【SDGs を未来逆算思考②】





TASK③ 【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

12 つくる責任
つかう責任



すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③ 【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)



TASK③【SDGs を未来逆算思考②】 発表用紙

すべきこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

すべきでないこと

① (政府)

② (企業)

③ (個人)

